

テーマ・視点

創造する公園 ～レインボーパーク～

今回私が提案したいまちづくりは、『緑と水に囲まれたリバーパーク』です。川辺の公園といってもこれまでのリバーパークのイメージからは想像ができない、様々な施設がある大型のリゾートパークを案にしてみました。

私の住む大分県内をはじめ、九州には豊かな自然を残しながらも、それを活用できずに過疎化に悩む市町村が数多く存在します。しかし現代の社会で、今もっとも求められている“癒し”を感じられる場所は、そうした豊かな自然の中にあるのではないのでしょうか。九州にある豊かな自然を活用し、みんなが楽しみ癒される空間を提案したいと思います。

人が集まり、彩り創る4つのテーマごとの空間

～それぞれに意味を持たせた4色の空間は、“虹”をイメージしています。

1. **水の空間（青）**・・・
噴水など水を利用したオブジェ、水路、橋、
自然の川を利用したリバースポーツ・遊び
2. **緑の空間（緑）**・・・
季節の草花、芝生の広場、パーク内遊歩道
3. **活動の空間（赤）**・・・
野外ステージ、イベント広場、遊具、アスレチック
4. **憩いの空間（黄）**・・・
休憩所、シャワー・更衣室、フードコート（各種店舗）、
宿泊施設（ロッジ、コテージ等）

創造する公園とは、水辺を利用した癒しの空間で、私たち一人一人の自由な発想と、アイデアを形にするための場所を提供する公園です。パーク内に設けられた野外ステージ・広場・店舗などを利用し、様々なイベントや活動をすることができ、みんなで楽しめる公園を私たちの手で創っていきます。作られた公園に遊びに行くという感覚ではなく、自分たちの手とアイデアで色付けのできる公園を目指しています。

テーマ1の『水の空間』では、子供たちが安心して水遊びができる水深の浅い水遊び場や、人々が休息できるような場所、自然の川の流れを利用した、カヌーやカヤックなどのスポーツを楽しめる場所をイメージしています。清涼感あふれる水辺で、小さな子供から大人まで、みんなが楽しめる時間を過ごせる空間です。

テーマ2の『緑の空間』では、パーク内を散策できる遊歩道や、緑に囲まれた広場をイメージしています。遊歩道では季節の草花を鑑賞することができ、広場はお花見や子供たちが自由に走り回って遊べるような空間になっています。豊かな緑は厳しい九州の夏の暑さを和らげてくれる木陰を作り、四季の草花が見る人の心を癒してくれます。

テーマ3の『活動の空間』では、野外ステージやイベント広場、子供たち向けの遊具やアスレチックを設置し、人々が活動的になれる場所を提供します。四季のイベントや各種団体・個人の発表の場にも利用していただけます。いろいろな舞台やイベント、催しをすることで、そこに人が集まり、それぞれが創意工夫をしながら、みんなで楽しめる場所へと創りあげていく。創造の公園が意味するものは、この空間での活動が一番大きいと考えます。

テーマ4の『憩いの空間』では、食事や買い物が楽しめる施設や、広場や川などで遊ぶ人のための更衣室・シャワー室を設けます。その他にも、休憩所やキャンプができるような広場、ロッジやコテージ等の宿泊施設も充実させることで、長期の滞在が可能になり、遠方からのお客様の負担も少なくなると思います。

リバーパークというと、夏限定の活動の場所というイメージが強いと思いますが、イベントが楽しめる場所の提供、その土地の食材が楽しめるお店、四季を感じられる草花、子供たちがのびのびと安心して遊べる場所、宿泊施設など、“夏だけではない”という魅力があれば、1年を通じてたくさんの人たちに利用していただけるのではないのでしょうか。